

関西ティーイーケイ(株)環境報告書 2007

ごあいさつ

ご案内のように、当社は東レエンジニアリング株式会社の関西における関係会社で、東レ株式会社及び東レエンジニアリング株式会社で培ってきた技術・技能をさらに高めた機械・電気・計装関係の技術・技能集団です。それをもって幅広い顧客ニーズに応え続けています。東レグループの一員である当社の従業員の大半は、東レ滋賀事業場内に勤務しているところから、環境保全・改善活動についても東レ滋賀事業場の進める活動に同一歩調で取り組んでいます。

ここに示した種々のデータは、東レ滋賀に報告しているそのものです。我々関西ティーイーケイ株式会社は東レグループの一員として大津市と結んだ環境保全協定の実施に向け、今後ともたゆまない努力を続けることをお約束致します。

関西ティーイーケイ株式会社
社長

環境方針

【環境理念】

安全・防災・環境保全・衛生・健康・倫理を事業活動の最優先課題として、社会と社員の安全と健康および資源を守り地球環境保全に努めます。

【環境保全方針】

1. 大津市環境基本計画に基づき、共生、循環、健康、快適、協働の基本目標を達成すべく、環境保全活動方針・計画を明確にし、環境の維持・保全に努めます。
2. 環境関連の法規制を遵守し、自主的に保全・改善活動に取り組めます。
3. 水質汚濁物質の流出防止および大気汚染物質の排出防止を徹底します。
4. 廃棄物の削減、リサイクル化の促進、省エネルギーへの取り組み等環境負荷の低減に努力します。
5. 臭気・振動・騒音等を防止し、地域環境を守ります。
6. 上記項目の実現のため、環境目的および目標を設定し、かつ、全従業員が事業者・市民としての責任と役割を自覚し、共通の目標を達成するために継続的な活動を推進いたします。

2001年2月26日制定

会社概要

社名：関西ティーイーケイ株式会社
 設立：昭和48年9月
 資本金：80百万円
 本社：〒520-0832
 滋賀県大津市粟津町1番24号
 TEL 077-534-0956
 FAX 077-534-4693
 株主：東レエンジニアリング株式会社
 東洋電機株式会社
 代表者：代表取締役社長 佐藤 眞理
 許可業種：
 特定建設業 特-12第18627号
 機械器具設置工事業・管工事業・
 電気工事業

事業内容

設備維持・保全：機械、電気・計測設備の維持、保全
 各種設備の更新、修繕工事
 設計、製作：繊維機械、産業機械、乾燥機、コーター
 設備、セラミックス加工、複合材加工、
 コンポジット
 制御盤設計、製作：制御盤の設計、製作、調整、保守
 制御システム設計、調整、電子機器組立
 総合エンジニアリング
 ：機械、電気、計測、土木、建築
 プラントの設計、施工、監理
 特定派遣業
 新規展開事業分野
 物流合理化機器 環境保全設備 制御システム装置
 高分子関連設備（繊維・フィルム・プラスチック他）
 化学・食品・医薬プラント

2007年度 環境保全活動

I. 2007年度 関西TEK環境マネジメントプログラム

2007年度 関西TEK 環境マネジメントプログラム

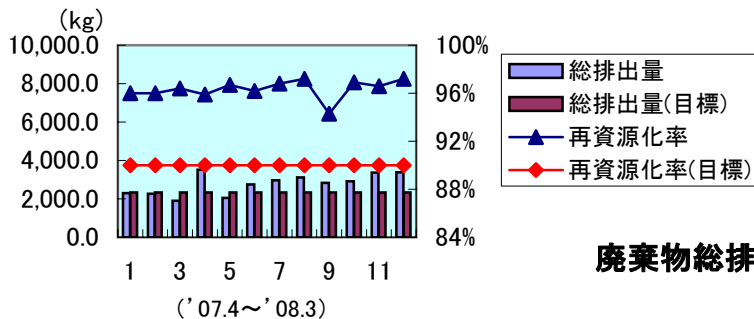
2008年7月9日

番号	環境目的	環境目標	達成基準 (達成度)	方針・施策 (手段・方法)	目標達成のための必要要件 (機具・設備・資金等)	スケジュール												達成予定 年 月	実行責任者
						上期						下期							
						4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
1	廃棄物の排出により生じる環境影響の最小化	1) 総廃棄物処分量の削減(再資源化含む)	28t/年以下を目標 (前年廃棄量:30.112t) ※目標昨年と同じ	・削減計画の周知徹底と7R ・紙以外の排出物は昨年実績維持 ・紙の買い、無駄使いの禁止 ・茶かす、吸殻の水きり廃棄の徹底 ・ゴミ分別の徹底 ・あかり安心サービスの導入徹底	・分別パトロールの強化と排出物の7R ・購入品の梱包資材返却の推進 ・再利用の徹底(通い箱方式の導入等) ・再資源化ルートの開拓													2008-3	安管部長/各御会長
		2) 再資源化の推進	再資源化率:98% (94%) ※本年度から紙は100% 努力可能	・紙の両面利用の徹底 ・無駄使い、ミス印刷の禁止	・定期パトロールの実施(紙の使用量監視) ・購入品の梱包資材返却の推進 ・電子データ処理の推進														
		3) 紙の削減	13.5t/年以下を目標 (前年廃棄量:15.484t) ※2006年実績を目標に	・冷暖房の温度管理徹底 ・不用時オフの徹底 ・「旅費/ドックストップ宣言」の実施 ・公共交通機関の利用促進 ・経済速度での運行															
2	省エネルギーの推進による地球温暖化防止	エネルギー費用削減の推進	A. 用設置: 9,700千円/年以下(9,447)	・冷暖房の温度管理徹底 ・不用時オフの徹底 ・「旅費/ドックストップ宣言」の実施 ・公共交通機関の利用促進 ・経済速度での運行	・定期パトロール ・使用量毎月7R												2008-3	安管部長/各御会長	
			B. ガソリン使用量: 20,000L/年以下(19,834) ※昨年度実績を目標に														2008-3		
3	法遵守の継続及び環境異常発生への未然防止	環境異常発生ゼロ (異常排水流出防止)	重大トラブル0件 軽度トラブル0件	・教育訓練による意識アップ ・一般排水路のチェック ・工事保安対策会議の充実	・定期パトロールの実施 ・水経路パトロールの積極的参加 ・全社環境教育の推進(環境教育表による)												2008-3	社長/各御会長	

II. 2007年度環境保全活動結果

1. 廃棄物の削減

1) 総排出量と再資源化の推進



目標達成のために

- 2007年度削減計画のPR
- 購入品の梱包資材返却
- 3R活動の推進とPR
- 分別パトロールの強化

廃棄物総排出量目標達成出来ず

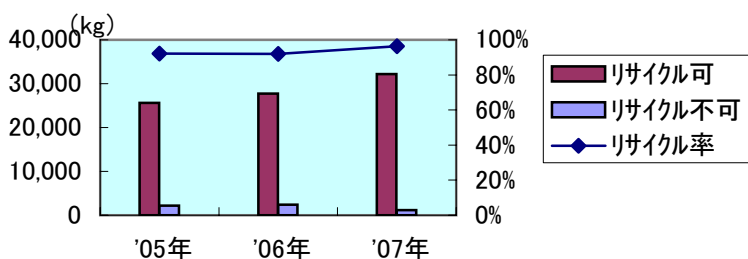
目標28.0t/年
実績33.4t/年

紙以外のリサイクル率目標達成

目標90.0%
実績91.9%

一内訳一

	総排出量 (kg)			総排出量
	リサイクル可	リサイクル不可	リサイクル率	
'05年	27,943	2,490	92%	30,433
'06年	25,652	2,197	92%	27,849
'07年	32,188	1,194	96%	33,382
増減量	-6,536	1,003	93%	-5,533

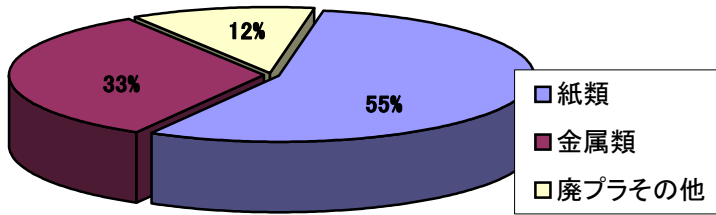


当社の事業形態から受注増とともに紙類・金属類・廃プラ等その他の廃棄物の排出量が増大し、環境保全活動にも影響する。

2007年度は、その現象が如実に現れ、目標とした総排出量(28.0t)に対し、33.4t(1.19倍)となり残念ながら目標は、クリアできなかった。

しかし、廃棄物の内訳(次ページ)でも判るようにリサイクル可能な紙・金属が大半を占めていることから廃プラを含むその他廃棄物を如何に

—内訳—



2007年度紙リサイクル率：96.5%

紙類の廃棄実績は18.5tで目標値の13.5tはクリアできなかったが、再利用や再資源化することでリサイクル率UPに繋げることができた。

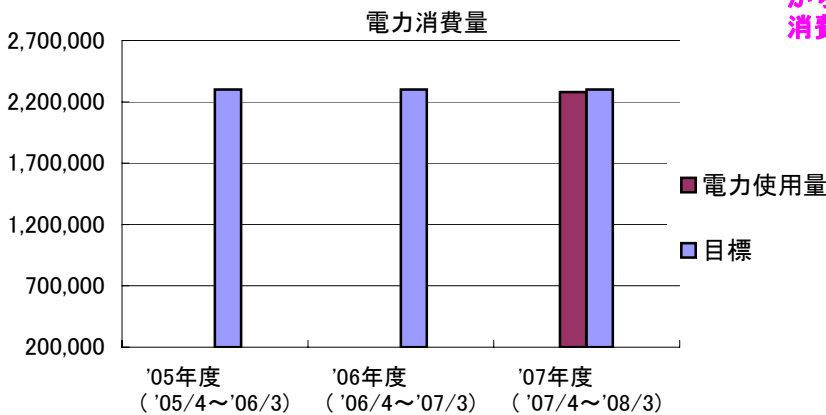
再資源化を図るかが私達の環境保全活動の課題と言える。

そういった中で2007年度は全社的に3R運動(Reduce：削減、Reuse：再利用、Recycle：再資源)を推進したことにより、リサイクル率96.4%と前年度より約4%UPした。

2008年度も積極的に活動を展開し廃棄物の排出量を削減するとともに再資源化に努める。

2. 省エネルギーの推進

1) 電力消費量

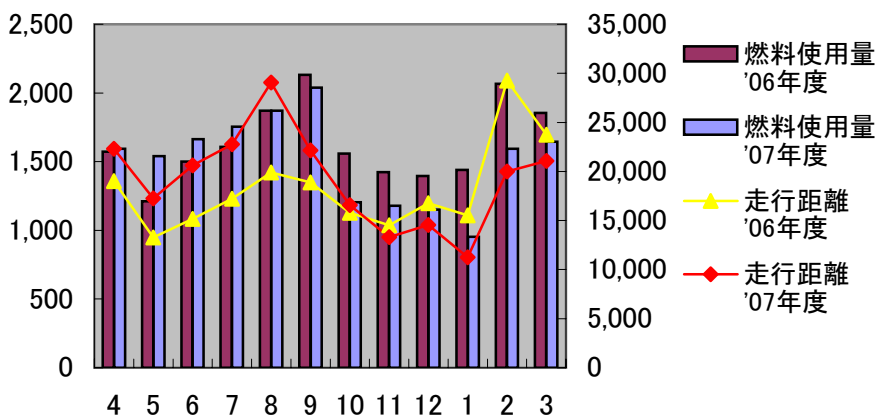


※ 省エネルギーの推進活動として、用役費用実績を挙げてきたが、地球温暖化防止の観点から今年度より省エネ活動を電力・ガソリン消費に絞って活動を展開した。

目標達成のために

- a. 冷暖房の温度管理強化
- b. 不要時のS/W OFF化の再徹底と実施
- c. 「滋賀アイドリングストップ宣言」の実施
- d. 公共交通機関の利用促進
- e. 経済速度での運行

2) 燃料消費と走行距離



2007年度は営業活動が活発になり、社有車の利用が増え走行距離も昨年に比べ約5%の増となった。

しかし、燃料消費については年度当初に設定した目標値20.0KLに対し、実績18.2KLに抑えるなど約10%節約することができた。

社有車を使用する社員一人ひとりが省エネを考え、エコドライブに努めた結果と言える。2008年度も本年度実績以下で推移するよう努力していきたい。

3. 環境苦情件数の削減

1) 環境に関する苦情件数のゼロ化

- 重大トラブル 0件
- 軽度トラブル 0件

と目標は達成できた。引き続き苦情件数“0”を目標に努力する。

目標達成のために

- a. 教育訓練による意識アップ
- b. 水経路バスツアーの積極参加
- c. 環境負荷に対するリスクPR

以上